

性器脱（TVM）の治療計画

担当医師  
担当看護師

様

	術前	術後～1日目		術後2日目～		術後4日目～		
達成目標	術前状態に異常がなく、手術が出来る。	異常出血などがなく、全身状態も安定している。		疼痛コントロールができ、自由歩行が可能になる。		創部異常や感染兆候がなく、状態が安定する。		退院が可能になる。
日付	術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5～6日目	術後7日目
投薬・注射 手術	 眼鏡、入歯、コンタクトレンズ、指輪、アクセサリなどははずしてください。 マニキュアは除去してください。 手術用の服、紙パンツに着替えます。 時間になりましたら歩いて手術室にいきます。 排便が無ければ洗腸をします。  点滴を開始します。	 翌日の朝方まで点滴を行います。  麻酔が切れてくると少しお腹の痛みを感じます。痛み止めを使ってもかまいませんので申し出てください。 少量の性器出血があります。量が多い場合はお申し出ください。 発熱や嘔気、嘔吐が出ることがあります。症状に応じて薬が使用可能です。	 夕食後から内服薬（緩下剤）を飲み始めてください。   午後に腔内のガーゼを入れ替えます。  少しの痛み発熱、嘔気、嘔吐があります。 ガスが出るとお腹の張りが楽になります。 頭を起こすと頭痛が起きることがあります。（ひどい場合はスタッフに申し出てください）。	 腔内のガーゼを抜きます。  少量の性器出血はしばらく続きます。（1～2週間程度）	 便がでていなければ薬などを使用し、でるのを助けます。  全体的に症状は落ち着きます。	 尿管を抜きます。残尿のチェックをします。  ほとんど無理なく歩行が出来るようになります。		
検査			 採血検査があります。			 採血検査があります。		
食事	 食事・水分は摂れません。	手術後3時間ほどたったら少量の飲水が可能になります。（最初は看護師が付き添って、飲んでも異常が無いか確認します。）	 朝から食事を開始します。（ソフト食）					
生活 （安静度・観察）	手術開始までは自由です	看護師が定期的に観察に行きます。尿管は4日目まで入れておきます。 麻酔が覚めてきたら血栓症予防の為に身体を（特に足）よく動かしましょう。 フットポンプを装着します。	検温にお伺いします。 朝から座ることが出来ます。 午後から病室内を歩きます。 フットポンプを外します。	基本的に自由ですが、長時間座ったり歩いたりすることは避けてください。	体調に合わせて病院内を歩いてください。（外出される場合は医師に許可をもらってください）			
清潔	手術室へ行く前に歯磨きうがいをしておきましょう。		全身を拭く、着替え、洗髪が出来ます。	シャンプーが出来ます。	ご自身でシャンプーが可能です。全身を拭きます。	主治医の許可によりシャワーができるようになります。創部はこすらず、流すだけにしてください。		
その他	手術・入院生活に対して不明な点があれば医師・看護師にお尋ねください。 手術室の看護師がお部屋を訪問します。	手術終了後に主治医より手術結果についての説明があります。家族の方は手術終了までお待ちください。 家族以外の方ご面会はご遠慮ください。	体調に合わせて面会してください。ただし発熱や気分不良などの症状があるときは面会を控えてください。				退院日や次回の外来受診日などを話し合います。	経過がよければ退院となります。